

# せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No.12

平成30年10月26日

mail tamaki@futtu.ed.jp

URL <http://www.futtu.jp/syo-tamaki/>

今年の秋は、「台風による強風や塩害でモミジやイチョウは葉を落とし、紅葉シーズンを直撃」「公園でサクラが咲く」といったニュースが入ってくるなど、異常気象の影響を受けていますが、夏の酷暑も去り、秋の深まりを感じる季節になってきました。日本は四季のある国です。進んで外に出て自然と触れ合い、体全体で気温の変化を感じ取り、木々の様子に目を向けて、季節の移り変わりを楽しみたいものです。今学校では、小中合唱祭、市体操大会に向けて、がんばっています。

## 小中合唱祭・峰促同盟「演奏鑑賞」



10月27日(土) 天羽東中体育館

小中合唱祭 11:15~12:25

◆環小1~3年生 「小さな世界」  
「ミッキーマウスマーチ」

◆環小4~6年生 「Take off! 一夢に向かって」  
「この地球のどこかで」

峰促コンサート 14:00~15:00  
「アルケミストライブ」



- \*11月2日(金)の午前、市音楽の集い(場所:富津公民館)で4~6年生が上記の2曲「Take off! 一夢に向かって」「この地球のどこかで」を演奏します。
- \*11月14日(水)の午前、君津地方音楽会(場所:君津市民文化ホール)で5・6年生が上記と同様の2曲を演奏します。



<1~3年:体育館での合同練習>



<4年~6年:教室での合同練習>

## 市体操大会に向けて

11月7日(水)に富津市総合社会体育館で市体操大会が行われます。10月3日(水)からスタートした体操練習には、3年~6年までの希望者43名が参



加し、放課後、体育館で一生懸命練習に励んでいます。「跳び箱」、「マット」、「鉄棒」に分かれ、それぞれの種目で「うまくなりたい」「うまく跳びたい」という気持ちがよくあらわれていて、みんなが意欲的に練習に参加しています。この体操大会に向けた練習を通して、運動能力や表現力を高めていきます。10月29日（月）、11月2日（金）には、天羽高校から講師を招聘し、助言をいただく中で、演技に磨きをかけていきます。

10月3日（水）、全校朝会・集会が行われました。今回の朝会では学校長より次のような話がありました。

## あかりの日！ エジソンから学ぶ

先日行われた運動会では、「燃えろ赤組！輝け白組！心を一つに突き進め」というテーマのもと、よくがんばり、大成功の運動会でした。運動会前に個人の目標を立て、取り組んできたと思いますが、目標は達成できたでしょうか。目標が達成できたかどうか、運動会を振り返って、次につなげてほしいと思います。

先日、京都大学特別教授の本庶 佑（ほんじょ たすく）さんが、2018年度のノーベル医学生理学賞という最高の荣誉に輝きました。がん免疫治療薬開発に道を開き、がんという病気で苦しんでいる人たちに希望の光を与えました。ノーベル賞のノーベルとは、ダイナマイトを発明した人の名前です。ダイナマイトは爆発力があり、怖いイメージがあると思いますが、昔、トンネル工事や土木工事に利用されました。そのノーベルが発明や会社の経営で得たお金を世界の平和や科学の進歩に使ってほしいという遺言を残したことによって、ノーベル賞がつくられました。

1897年10月21日は何の日？・・・「あかりの日」です。

1847年～1931年 84才 トーマス・エジソン

エジソンが1897年10月21日に発熱電球を発明しました。そこで、10月21日を「あかりの日」としています。

今から約170年前、エジソンはアメリカで生まれました。エジソンは「知りたがりの子ども」でした。「ガチョウはどうやって生まれるの？」確かめたくて、タマゴを抱いて何時間も座り込みました。また、ある時は「何で火は燃えるの？」物置小屋でこっそり火をつけてみました。するとボーボーと燃えうつり、小屋が燃えてしまいました。（絶対にこういうことはやってはいけません！）小学生になっても質問ばかりでした。口ぐせは「どうして？」でした。「どうして1+1=2なの？」「粘土1個と1個を合わせたら、大きな粘土1個なのになぜ？」と先生に質問するなど、授業中は「なぜ？」という言葉が連発するくらい好奇心が旺盛でした。うまく答えられない先生は怒ってしまいました。「君はもう学校に来なくていい。」しょんぼりしていると、お母さんが言いました。「それならお家で勉強しましょ。」

エジソンはたくさんの本を読みました。お母さんはどんな質問にも答えてくれました。そして、地下に実験室をつくってくれたのです。「わからないところは何でもためてごらんさい。」エジソンは発明に夢中になりました。電話を使いやすくしたり、音楽を流す機械をつくったり、エジソンの発明はみんなの暮らしを便利にしました。「夜になっても明るい電気がついたらいいなー」当時のアメリカでは、あかりといったらランプやローソクでした。すぐに消えてしまうのです。「長く光るにはどうしたらいいかなー」いろいろな方法を確かめました。そして、とうとういい材料を見つけました。日本の竹（京都産）を使ってみたら、1000時間以上あかりがついたのです。あかりのともった町に人々の笑い声が響きました。今では、LEDが使われ、発熱も少なく、電球の需要が伸びています。「エジソンはかしこいなー」みんなエジソンを『発明王』と呼んでほめました。でもエジソンは言いました。「ほんのちょっぴりのひらめきとたくさんの方のおかげだよ。」エジソンは生涯で1300個ほどの発明をしました。実際に発明するために、数千回の実験をしたそうです。時には、5万回を超える実験を粘り強く行いました。また、ひらめいたときは必ずメモをして忘れないようにしていたそうです。

エジソンから学ぶことは、ひらめいたときは、必ずメモをして忘れないようにしたことです。みなさんも、授業中、先生の話を書いたり、自分で考えたことをノートに書くことが大切です。また、勉強するとき、「なぜ？」とよく考えてみることです。「エジソンのような発明王になってください。」とうことではありませんが、エジソンのように本をたくさん読んでいくことも大切なことです。有名な人の生き方を書いた本を読んでみるのもいいでしょう。読んでいく中で、今後の自分の生き方のヒントになることもあると思います。多くの本に触れるようにしましょう。